

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2020. 4
No.320

登りは体力、下りは技術

これは2020年1月27日、日経新聞の

『春秋』の一節です。

“日本は70数年、いつ何時でも好みの食品が買え、望めば未明まで広々とした席で料理を前に語らえる。コンビニやファミリールーランのおかげだ。どの時代にもなかった豊かさを味わってきたのである。

だが、そんなスタイルも転機なのか。コンビニの店舗数が減少に転じ、ファミレスは、営業時間の短縮に動き出した。

人件費の高騰が主な理由と聞くと、後景には少子高齢化の影がさしていよう。人々のニーズをかなえようと突き進んだ道はピークに達した。ここから先のルートは「縮み方」を身につけ

ねば踏破は難しい。前例なき挑戦だろう。登山の格言がある。登りは体力、下りは技術。”

この日経新聞が予感してきているように、どうも我々パワートレイン業界も再編や本格的なEV化により下り坂にかかっていると思っただ方が良いのではないだろうか。更にこの新型コロナウイルスで中国が、韓国が、日本が、そして全世界が前人未踏の経験をウイルスと戦っておりすが、この世界経済に対する影響は、本

当に『下り坂』なのです。

ですから今まで“体力”のみで伸びていたイナテックも“技術”を駆使した経営にシフトしていかなければなりません。

イナテックの“技術”とはTPM・TPS・TQCと加工点技術等を充分使いこなすことであり、その強みを使いこなす時が到来しました。具体的には“在庫を減らす”“不要な買い物はしない”“労働生産性向上(特に事務間接の生産性)”で、これらをどれだけ早いスピードで実行できるかにかかっております。是非頭の中を切り替え生き残しましょう。

2020年度 イナテックグループ入社式

イナテックグループ入社式にイナテック12名、イナテック鳥取9名、イナテックサービス1名、計22名の高卒・大卒の諸君が入社してくれました。

前述した前人未踏の減速経済の中を生き抜いていただく22名の大変優秀な新入社員ばかりです。その新入社員を育てるのは我々先輩社員なのです。どの時代でも「今の若者は・・・」と先輩社員はグチをいうのですが、これからの日本国を、イナテックを背負っていくのは、この新入社員のみなさんなのです。

そして新入社員に次の言葉を送ります。

「素直な人が伸びる」

成功しない人の四条件

- 一、言われた事しかない人
- 二、楽をして仕事をしようとする人
- 三、続かないという性格を直さない人
- 四、すぐに不貞腐れる人

人間は趣味では絶対に人格は磨かれない
人間の人格は、仕事に打ち込む中で磨かれていく。

経済産業省

「健康経営優良法人2020」認定

イナテックグループが健康経営優良法人2020に2020年3月2日付で認定されました。イナテックは中小規模法人部門の全国で4723法人認定の中に入ることができました。これも人事総務の方々をはじめ、組合や社員の方々の健康に対する取り組みが経済産業省に認められたことです。これは別名「ホワイト企業」認証とも呼ばれています。

経済産業省のホームページよりピックアップしました。“「健康経営優良法人」とは、特に優良な健康経営を実践している企業法人を顕彰する制度です。”

健康経営とは従業員の健康管理をテストではなく、戦略的な経営投資として捉える考え方のことを指します。

この認定制度では健康経営に取り組む優良な法人が従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としている経産省の顕彰制度です。(次回はもっと具体的に説明します)

八二

風來疎竹、風過而竹不留聲。雁度寒潭、雁去而潭不留影。故君子事來而心始現、事去而心隨空。

風がまばらな竹やぶに吹くと、ひとときは風に鳴るが、吹き過ぎてしまうと元の静けさに立ち返って、竹やぶはなんの声も留めない。かりがねが澄んだ淵の上を飛ぶと、ひとときは水面に影を落すが、飛び去ってしまうと元の静けさに立ち返って、淵はなんの影も留めない。それ故に君子というものは、事が生じて初めてそれに対応する心が現われ、事が去ればそれと共に心は空になるものであって、後々まで執着するものではない。

